

議案番号	議案名	概要	反対議員
議案第58号	<p>《棄権理由 至誠会》この予算には、伊勢鉄道支援事業の負担金が含まれている。田川知事のときに、国鉄がJRと分離して民間の第3セクターという形になっているが、昭和53年には赤字が続いて廃止決定がされている。これは事業として成り立たないということの証明である。この事業の支援に、県が中心となって10億円もの税金を使おうとしており、そのうちの半分は15市町が払うこととなっている。この事業がなければ、市民生活に多大な影響を及ぼすのであれば理解できるが、JRや近鉄、バスなど他の交通手段が幾つもある。なぜ、うまくいかない赤字事業に、税金を使わなければならないのか理解できない。また、教育費の中のエアコンの設置について、教育の目的は何かと尋ねた時に、国際的な品格、人格を備えた人間をつくる、という答弁があった。世界には、寒さ・暑さが想像以上の場所がたくさんあるのに、エアコンを設置するという矛盾したことをなぜ行うのか。弱い子どもをつくって、この国をどうするつもりなのかと感ずる。ただ、この議案には、市民生活に影響があるものも含まれていることから、反対ではなく採決を棄権する。</p>		
議案第59号	平成28年度津市モーターボート競走事業特別会計予算	勝舟投票券払戻金、船舶等振興機関等への交付金、選手賞金等の報償金、広報・宣伝費、市債の元利償還金、一般会計繰出金等、 521億2697万2000円	中川民英、藤本智子 豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》もともと公営ギャンブルには反対という立場であり、今回売り上げが上がることで日本財団等への交付金が8億円以上になると同時に、毎年競走用ボートなどに関して独占的な契約がなされ、特定の一族に資金が流れる仕組みとなっていることから反対する。</p>		
議案第60号	平成28年度津市国民健康保険事業特別会計予算	賦課徴収事務経費、保険給付費、後期高齢者支援金、介護保険納付金、保険財政共同安定化事業拠出金等、 336億8294万9000円 (事業勘定)、一般事務費、薬品費等、 2741万8000円 (直営診療施設勘定)	中川民英、藤本智子 豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》国民健康保険料が、今回平均21%もの値上がりになっている。国民健康保険には、年金生活者や自営業、非正規雇用の方など比較的所得が低い方が多く加入しており、津市の加入者状況は、所得200万円以下の方が80%を占めている。国の社会保障費切り捨て政策の下、国保料の大幅値上げは生活を大きく圧迫する。払いたくても払えない世帯がますます増えて、病院にかかりたくてもかかれない人が増え、その結果、国保会計を一層悪くする悪循環に陥ることになる。一層の繰入金増で加入者負担を減らすべきとの立場から反対する。</p>		
議案第61号	平成28年度津市介護保険事業特別会計予算	賦課徴収事務費、介護認定経費、居宅サービス等の保険給付費、地域包括支援センター運営委託料等の地域支援事業経費等、 270億1765万6000円	中川民英、藤本智子 豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》依然として特別養護老人ホームの入所待機者は多く、これから始まる総合事業の中での介護予防の将来の姿がまだ不透明であるため反対する。</p>		
議案第62号	平成28年度津市後期高齢者医療事業特別会計予算	徴収事務費、後期高齢者医療広域連合納付金等、 60億581万6000円	中川民英、藤本智子 豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》後期高齢者医療制度は高齢者を差別し、新たな負担増を持ち込んだ制度であり、制度そのものに反対する立場から反対する。</p>		
議案第64号	平成28年度津市簡易水道事業特別会計予算	施設の維持管理経費、簡易水道整備費、市債の元利償還金等、 12億6315万8000円	中川民英、藤本智子 豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》簡易水道料金には、必要以上に多い契約量で基本料が高くなっている長良川河口堰関連の県営水道料金が反映されており、使用料に消費税が転嫁されていることから反対する。</p>		
議案第67号	平成28年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	貸付事業運営費、市債の元利償還金等、 5300万7000円	中川民英、藤本智子 豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》未回収の貸付金残高がまだ7億8000万円もある。これはあくまでも貸付事業であり、基本的には返却されるべきものであるため反対する。</p>		
議案第69号	平成28年度津市水道事業会計予算	受水費、施設維持管理費等、減価償却費、検針、料金徴収等経費、配水管移設受託工事費等、一般管理的経費、建設改良費、企業債償還金等、 119億4428万1000円 (支出)	中川民英、藤本智子 豊田光治
	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》従来から指摘しているように、県営水道からの導水が水道会計を圧迫している。長良川からの導水事業は、合併前の市町村がそれぞれ契約していた水量を継続しており、実績から見ても必要以上の契約になっている上、大きく水道会計を圧迫している。また、老朽化した水道管の更新や、耐震化の促進も急務であり、将来のために技術者の確保を進めるべきである。加えて、使用料に消費税が転嫁されているため反対する。</p>		
議案第72号	平成28年度津市駐車場事業会計予算	駐車場管理費、企業債償還金、建設改良費、他会計長期借入金償還金等、 2億9417億4000円 (支出)	岡村 武
	<p>《反対討論 至誠会》駐車場事業会計は、市の一般会計から約2億3000万円を借り、年間約300万円の金利を支払っているが、このことは全く理解できない。金利を払い続けるくらいなら、借りたお金を返して経営を楽にし、市民の利益のため、中心市街地活性化のために還元するべきとの立場から反対する。</p>		